

NEW

福岡歯科学園広報誌

ニュー ソフィア

SOPHIA

MAY.2006

Vol.14 No.2

(第50号)

FUKUOKA SHIKAGAKUEN



学園上空から

CONTENTS

平成18年度入学式 — 2

歯科医師臨床研修始まる — 3

COLLEGE NEWS
上海交通大学口腔医学院と国際交流 — 4

定年退職を迎えて — 5

FROM PARENTS
保護者からのメッセージ — 6

FROM THE ALUMNI
ASSOCIATION
同窓会だより — 7

HI FROM CLINICS
クリニックからこんにちは — 8

平成17年度卒業式・謝恩会 — 9

平成18年度新入生研修会 — 10・11

平成19年度入試日程
オープンキャンパスの案内 — 12

『ニュー ソフィア』は福岡歯科学園
ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.fdcnet.ac.jp>

福岡歯科学園

歓迎 頑張れ!新入生諸君



福岡歯科大学・大学院新入生



福岡医療短期大学新入生

福岡歯科大学・大学院入学式

平成18年度の福岡歯科大学歯学部・大学院入学式は春爛漫の4月3日午前10時から、田中健藏理事長、本田武司学長始め法人役員、大学教員、新入生父兄らが見守る中、本館講堂において挙行されました。

緊張の面持ちの歯学部新入生96名に対し本田学長は、「入学おめでとう。この六年間、教職員あげて諸君を立派な歯科医師にするための支援は惜しまない。諸君は、歯に関する知識・技術のみを修得するのではなく、身体全体を知った上で、歯を含めた口腔という臓器をよく理解しようとする姿勢と、一人の社会人としての自覚と責任をもって日々、行動し

てほしい」と述べました。博士(歯学)を目指す5名の大学院生に対しては、「独創的な研究を論文に纏めた時の感激と満足感を得るため、日々研鑽を忘れないで研究してほしい」と励まし言葉を送りました。また、田中理事長は、「我々は、学生が意欲をもって勉強し、同窓生が誇れる母校を目指し、歯科医学の発展への世界レベルでの貢献、ならびに地域医療への貢献をモットーとしています。本田学長、本川病院長、北村学生部長をはじめ、臨席しておられる先生方の懇切な御指導をいただいて、六年間しっかり勉強して下さい」と祝辞を述べました。

福岡医療短期大学入学式

福岡医療短期大学の平成18年度入学式は4月6日、満開の桜が歓迎する中、福岡歯科大学本館講堂で挙行されました。希望に満ちた152名の新入生、専攻生を前に栢豪洋学長は「キャンパスの中には、医科歯科総合病院だけでなく、介護老人保健施設、介護老人福祉施設があり、歯科衛生士、介護福祉士の養成校としては、申し分のない教育環境にあります。実習中に利用者の言葉にならない言葉を読み取る医療人としての感性を高めるとともに、歯科衛生士とは何か、介護福祉士とは何かを問い続け、卒業までに素晴らしい答を出してください」と期待を語りました。

歯科医師臨床研修始まる

4月6日午後1時から本館602講義室で、義務化後初の平成18年度歯科医師臨床研修開始式が行われました。式には73名の臨床研修歯科医のほか、本田大学長、本川病院長、青野常務理事らが出席。本川病院長は歯科医師国家試験合格を祝すとともに「患者様のための研修であることを忘れずに」と、研修に際しての心構えを述べました。

研修は5グループに分かれ、福岡歯科大学医科歯科総合病院の他、協力型臨床研修施設において、初診患者に対する診断と治療方針等についての実地修練を行い、一般歯科診療に従事し得る基本的な診療能力の修得を目指します。期間は来年3月末までの1年間。



本田大学長から辞命を受ける研修歯科医



診療を見学する研修歯科医

新役職教員 病院長に本川教授を再任

3月24日に開催された第378回理事会において、大学運営の要となる福岡歯科大学医科歯科総合病院長、情報図書館長、学生部長の選任が協議され、次のとおり決定しました。任期は平成18年4月1日から病院長は1年間、情報図書館長、学生部長は2年間。

- 病院長 本川 渉
(成育小児歯科学分野教授)
- 情報図書館長 谷口省吾
(麻酔管理学分野教授)
- 学生部長 北村憲司
(分子機能制御学分野教授)



左から北村、本川、谷口教授

学科長に大倉、升井教授

福岡医療短期大学保健福祉学科長に平成17年12月1日付で大倉義文教授、歯科衛生学科長に平成18年4月1日付で升井一朗教授が選任されました。

生体工学分野 高分子DNAで人工歯を骨に定着

生体工学分野では、(株)ニチロと高分子DNAの医療領域への応用のため平成16年から、共同研究を行っていたが、このほど、インプラントなど人工歯を骨に定着させる技術を開発しました。(3日6日、日経産業新聞から)



左から川口助手、福島助教授、生体工学研究室にて

新助教授紹介

まつうら たかし
松浦 尚志助教授

咬合修復学講座
冠橋義歯学分野



略歴

広島大学歯学部卒。同大学大学院歯学研究科修了。同大学歯学部附属病院医員、ノースキャロライナ大学歯学研究科研究員、福岡歯科大学講師等を経て、平成18年4月助教授に就任。博士(歯学)。福岡県出身。

抱負

福岡歯科大学の卒業生、研修医、大学院生を日本の他のどの歯学部、歯科大学のそれよりも優れた人材として世に輩出できるように、確信を持って、仕事をしていくつもりですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

本田大学長 教育功労者表彰

平成17年度福岡県私立学校教育功労者表彰が11月29日、ホテルレガロ福岡(博多区)で行われ、本田武司福岡歯科大学長が、永年にわたり歯学教育に多大の功績があったとして、麻生県知事から表彰されました。

第99回歯科医師国家試験

4月5日、厚生労働省から第99回歯科医師国家試験の結果が発表されました。全国の受験者3,308名中、合格者は2,673名、合格率は80.8%。福岡歯科大学からは今春卒業した81名及び既卒者42名、計123名が受験し、94名が合格しました。合格率は新卒84.0%、全体で76.4%でした。在学生の奮起を期待します。

第99回 歯科医師国家試験結果

大学名	総数		
	受験者数	合格者数	合格率
福岡歯科大学	123	94	76.4%
北海道医療大学歯学部	110	77	70.0%
岩手医科大学歯学部	103	79	76.7%
奥羽大学歯学部	151	99	65.6%
明海大学歯学部	129	107	82.9%
日本大学松戸歯学部	142	126	88.7%
東京歯科大学	141	128	90.8%
日本歯科大学	162	135	83.3%
日本大学歯学部	156	133	85.3%
昭和大学歯学部	112	101	90.2%
鶴見大学歯学部	156	125	80.1%
神奈川歯科大学	175	127	72.6%
日本歯科大学新潟歯学部	152	113	74.3%
松本歯科大学	174	92	52.9%
愛知学院大学歯学部	141	118	83.7%
朝日大学歯学部	141	109	77.3%
大阪歯科大学	175	127	72.6%
計	2443	1890	77.4%
国公立大学 計	859	779	90.7%
認定及び予備試験	6	4	66.7%
合計	3308	2673	80.8%

第15回歯科衛生士試験

3月27日、厚生労働省から第15回歯科衛生士試験の結果が発表されました。福岡医療短期大学・歯科衛生学科からは卒業生85名が受験し、81名(合格率95.3%)が合格しました。全国の合格率は95.9%でした。

上海交通大学口腔医学院と国際交流



上海交通大学口腔医学院の皆さん

平成16年4月に福岡歯科大学と上海交通大学口腔医学院の姉妹校としての学術交流協定が締結され、昨年の入学式には張志願院長ほか4名の教授が出席されました。本年は昨年の協議で決められた両校の学生の交流の第一陣として、4月9日から16日までの間、上海交通大学口腔医学院からの訪問団が来学しました。訪

問団の構成は団長の張建中副院長(補綴科教授)、沈国芳教授(口腔顎顔面外科)、銭玉芬教授(矯正歯科)、および梁景平教授(保存科)の教員4名と6年生の夏韞暉さん、郭秋曼さん、陳美華さん、陶倩燕さんの計8名です。

4月10日は全員で医科歯科総合病院の各診療室や基礎系の研究室を見学し、診療や研究分野についての説明を聞き、熱心に質疑応答が行われ、この秋には、研究者の交換など共同研究についても検討することになりました。11日から14日までは、教授は関連各科にわかれ、学生は医科歯科総合病院で補綴、保存、矯正、口腔外科の4科を本学の学生の中に入り1日ずつ研修しました。懇親会には本学の6年生数名も参加しましたが、上海の学生と直ぐに仲良くなり、若い世代の交流が芽生える気配を感じさせま

した。短い滞在でしたが、福岡の桜の名所や阿蘇にも行くことができ、ショッピングも楽しみ、一行にとって思い出深い本学訪問になったと思われます。

なお、7月30日から8月6日の日程で本学の教職員3名・学生5名が上海交通大学口腔医学院を訪問する予定です。



医科歯科総合病院小児歯科診療室を見学

臨床研修歯科医海外研修報告

平成17年度臨床研修歯科医海外研修は、5名の研修歯科医(佐藤みやこ、徳永悠一郎、笹原愛子、川畑英輔、井上知加予先生)を筆者が引率し、平成18年3月4日から13日まで合衆国カリフォルニア州ロサンゼルス市、ロマリダ市およびレッドランド市の3大学歯学部と6歯科診療施設で見学ならびに研修を行いました。

とりわけ南カリフォルニア大学歯学部では、副学長Eugene Sekiguchi博士(アメリカ歯科医師会元会長)自ら半日にわたってキャンパス内をくまなくご案内いただき、最近竣工したホテル並みの調度を備えた臨床研修施設も見学することができました。その他の施設、大学でもレジデントの診療や各施設それぞれに工夫をこらした医療管理システムの運用を拝見でき、参加者一同大いに刺激を受けました。

本研修の特色はホームステイを行いながら研修期間を過ごすことです。コーディネーションをお願いしたペースインターナショナルジャパンな

らびに現地コーディネーターKen Heinrich氏のご尽力で、現役歯科専門医のお宅に受け入れていただきました。参加研修医にとっては、滞在先が第2の協力型研修施設であり、ホストファミリーがその研修指導医であるというわけで、ホテルに宿泊したのでは到底味わうことのできない、合衆国の歯科医のライフスタイルを身をもって体験できました。e-mailなどを通じて、今後さらに交流が深まることを期待したいと思います。

研修期間の後半は寒波に見舞われ、雨は降らないと謳われるカリフォルニアに雨が降ったり雪がちらついたり、想定外の寒さに震え上がりましたが、全員風邪も引かず無事に帰国することができました。

研修制度が義務化される平成18年度以降も、本海外研修が本学医科歯科総合病院独自の特色ある臨床研修プログラムとして、意欲に燃えた研修医によって「生涯研修へのもうひとつのステップ」として有効に活用されることを期待

永井 淳(臨床研修実務担当者、歯周病学分野・助教授)

したいと考えます。

最後に実行にあたり、ひとかたならぬご配慮を賜りました理事長先生、学長先生、病院長先生、臨床研修委員会、臨床研修実務担当者会、病院事務、庶務係、企画課をはじめとする学内の関係各位に深く感謝いたします。



予定を大幅に超過して2時間以上にわたり、歯周病学講座の3人の助教授の先生方からのレクチャーを聴講した後、さらに熱のこもった質疑応答を続ける参加研修歯科医のみなさん(ロマリダ大学歯学部学部長会議室にて)

海外研修派遣

(平成17年度)

所属分野	職名	氏名	用務	派遣先	派遣期間
内科	助教授	堺 孝明	カリフォルニア州立大学アーバイン校にて、Hitachi Chemical Research Center, Vice President Dr. 三橋将人と米国医療ビジネス情報および米国で先行する疾患マネジメント(Disease Management)に関する会議。予防医学の観点から、米国医療現場でのDisease Managementのシステムの現状と問題点を把握し、日本医療の質向上および医療費抑制を図り成果を効率的に日本医療に応用するための検討会議。	ロサンゼルス(アメリカ)	自:H18.1.7 至:H18.1.14
分子機能制御学	助教授	山崎 純	1.第50回Biophysical Society Annual Meetingにて発表のため 2.ネバダ州立大学リノ校におけるセミナーでの講演ならびに医学部薬理学講座J.R.Hume教授とCIチャンネルについての研究打合せのため	ソルトレイクシティリノ(アメリカ)	自:H18.2.17 至:H18.2.26
歯周病学	助教授	永井 淳	平成17年度臨床研修歯科医海外研修者(5名)の引率及びロマリダ大学歯学部、カリフォルニア大学ロサンゼルス校歯学部、南カリフォルニア大学歯学部の視察並びに現地デンタルオフィス関連施設の訪問視察のため	ロマリダロサンゼルス(アメリカ)	自:H18.3.4 至:H18.3.13
冠橋義歯学	助手	石川 昌嗣	1.ACADEMY of LASER DENTISTRY 13th Annual Conference and Exhibition Source 2006に参加 Certification Program Standard Proficiency Course 受講のため(カテゴリーII認定試験を受験) 2.The UCLA Center for Esthetic Dentistry (The Division of RestorativeDentistry)を視察のため	ツーソン(アメリカ)	自:H18.3.13 至:H18.3.22
口腔インプラント学	教授	松浦 正朗	1.Academy of Osseointegration's 21st Annual Meetingにて発表のため	シアトル(アメリカ)	自:H18.3.16 至:H18.3.20
口腔インプラント学	助教授	城戸 寛史	1.Academy of Osseointegration's 21st Annual Meetingにて発表のため	シアトル	自:H18.3.15 至:H18.3.23
冠橋義歯学	講師	松永 興昌	2.ヨバリンダインプラント研修センターにてインプラントインストラクターコース受講(ノーベルガイドの臨床応用)のため	ヨバリンダ(アメリカ)	自:H18.3.15 至:H18.3.23
口腔インプラント学	大学院	岡松 加恵			

(平成18年度)

所属分野	職名	氏名	用務	派遣先	派遣期間
口腔腫瘍学	教授	大関 悟			自:H18.4.20 至:H18.4.22
口腔腫瘍学	助手	橋本 憲一郎	47th Congress of Korean Association of on Oral & Maxillofacial Surgeonsにて発表のため	ソウル(韓国)	自:H18.4.20 至:H18.4.23
口腔腫瘍学	助手	多田 剛之			
口腔外科	助員	鈴木 祐社			
冠橋義歯学	大学院	片瀨 三千綱	留学(口腔粘膜および骨疾患を有する顎骨のコラーゲン架橋構造の分析とその架橋構造形成に関わる因子の解析)	ノースキャロライナ大学チャペルヒル(アメリカ)	自:H18.4.1 至:H18.9.30

【定年退職を迎えて】

平成18年3月で定年退職された4名の教授の方々からお話を伺いました。長い間、本当にお疲れ様でした。

専門分野【在任期間】①着任時・在任中の思い出 ②これからの大学・学生・教職員に望むこと ③退職後のご予定



井上 廣 教授 (歯科保存学分野) 【昭和51.1.10～平成18.3.31】

- ① 着任後3年目で第1回卒業生が昭和54年に国家試験を受けたが、その結果がはかばかしくなく私立歯科大学の中でも下位に数年低迷した。学会などへ行ったときなど、他大学の方たちから「ワースト3」などと言われ、肩身の狭い思いをしたことが度々あった。しかし、第91回(平成10年)の歯科医師国家試験で見事私立歯科大学17校中第1位になったときは、本当に嬉しかった。その時の晴れがましい気持ちは今でも強く思い出される。
- ② これからも学生・教職員一丸となって国家試験の上位定着に向け頑張ってもらいたい。また、山本五十六元帥の教訓ではないが、教授、助教授の先生方には教育、研究を自ら先導して指導し、良き教育者、研究者を育てていただきたいものです。
- ③ しばらくは今までの仕事などを整理し、2～3年後には、生まれ故郷の兵庫県但馬国に帰って、夏はゴルフ、冬はスキーを楽しみたい。



阿部 興紀 教授 (生化学分野) 【昭和47.8.1～平成18.3.31】

- ① 昭和47年本学設立準備委員会に籍を置き、開学準備に参加した時の大学周辺が田んぼばかりだったことを懐かしく思い出します。同年8月、化学講師に採用された当時はまだ教職員数も少なく、和気あいあいでした。教養主事時代を通して、各地区父兄後援会支部懇談会に数多く出席しましたが、各地で活躍中の卒業生の話聞き、心強く思ったものです。
- ② 本学学生の気質が以前と変わりつつあるのは少し寂しいですね。当初の「人柄のよさ」、ひいては「患者さんへの思いやりの心」を大事にしてほしいものです。また、卒業生が本学に残れる環境を整え、若い人材を育ててほしいと願っています。
- ③ 退職後はまだ白紙状態ですが、自由な自分の時間をもてるので、趣味(写真、ガーデニング)を楽しみ、高齢者パソコン教室のお手伝いでもできたら、と思っています。



阿部 公生 教授 (生化学分野) 【昭和59.11.1～平成18.3.31】

- ① 着任時は、歯科医師国家試験対策のため、夜9時過ぎまで講義したりで、非常に大変でしたが、大学院設立のために着任しましたので、着任後直ぐ(昭和60年)に大学院が無事設置できてうれしかったです。その後、お蔭様で国家試験の成績も上がってきて精神的には随分と楽になりました。しかし、相対評価の時代になり厳しい時代の再来を危惧します。杞憂に終わることを祈ります。
- ② 歯科界は社会的に厳しい環境下にあるので、いかに大学独自の校風を築きあげ、入学した学生をどのようにつくり育てていくかが大きな課題となっています。生き残るためには『特徴ある私立歯科大学』に焦点を合わせた将来構想を構築する必要があると思います。
- ③ これまでの仕事の整理と長年酷使してきた自分の身体のメンテナンス(精密検査)をし、非常勤で講義をしながら、息子の診療所にも時々顔を出そうかなと思っています。



宮崎 光治 教授 (生体工学分野) 【昭和51.4.1～平成18.3.31】

- ① 私が着任した昭和51年当時は研究室が現短大にあり、他講座との交流が乏しかったが、病院棟4階に設置(昭和50年)されていた中央研究施設の利用や、萩原義郷教授の呼びかけで発足したボーリング同好会(さつき会)への参加で他講座の先生方との交流が始まった。そして、1回生の国家試験対策で夜遅くまで学生と共に勉強したことや、大学院設置準備委員会の設立(昭和56年)に伴い教員の研究業績の充実のために昼夜を問わず臨床講座と行った共同研究時代は大変懐かしい。
- ② 学生や教職員の世代間のギャップの拡がりが増しているのが心配である。大変難しい問題であるが、お互いが真摯に向き合うこと、優しさや一歩踏み込んだ勇気ある言動が必要ではないだろうかと思う。
- ③ 旅行や休息をしてから、新しい人生のスタートをしたいと思うが、当面は多少今までの専門に係わる仕事になりそうです。

そのほか定年退職を迎えられた助教授・講師の方々をご紹介します。長い間、ありがとうございました。



和田 忠子 助教授
(画像診断学分野)
【昭和50.10.1～平成18.3.31】

大学社会で40年が過ぎ定年を迎えます。皆様のご指導、ご厚情に深く感謝しつつ、有意義な人生を送った大学と皆様のご発展をお祈りします。ありがとうございました。



大内 紘三 講師
(口腔健康科学分野)
【昭和51.1.11～平成18.3.31】

30年余の長きをご受用いただき有難うございました。これよりは畢生のテーマ自然と環境を見詰め、共に在りたいと願っています。



大西 健三 講師
(言語情報学分野)
【昭和55.7.1～平成18.3.31】

福岡歯科大学で25年9ヶ月ドイツ語を教えることができたことをうれしく思っています。ありがとうございました。

保護者からのメッセージ FROM PARENTS



水町 栄良 = 文

text: Eiryo Mizumachi

「我が家の三代目」

先生方の熱心な教育のお陰をもちまして、我が家にも三代目が出来ようとしています。この4月に次女が6年生になります。女の子だけの家庭だったので、水町歯科も私の代までかと、思っていました。上の子が大学受験をするときに、後を継がなくて良いのか妻に相談したそうです。妻には意思を伝えていたので医科に進むことになりました。下の子が歯科大に合格し大学の勉強等についていけるか心配しましたが、ここまで来てやっとほっとしている次第です。

私(九歯大23期)は昭和50年に卒業して直ぐ大牟田市の家で仕事をしました。当時は患者さんも多く、父から大学で習っていない事を沢山教わりました。初代である父(九州歯科医専3期)は昭和2年に卒業し、昭和4年から現在地で開院して、75歳まで患者さんを診ました。気骨のある明治の人で確実な診療と生活

は質素でした。大学で教わっていない縫製冠が特に大変でした。柔らかい純金に耐久性を持たせるため鑄造してカラットをおとし、ローラーで延ばし薄い金の板にして、開面金冠等を作りました。

その後、三池炭鉱の閉山等で人口が減少し、松屋と井筒屋デパートも閉店しました。その中で新しい歯科医院は沢山出来ました。それで患者数も激減しています。

今は、娘が帰って来るまで頑張ろうと、妻と二人で診療しています。技工物も殆んど(鑄造ブリッジ・義歯など)自分で作っています。娘に治療のやり方や技工面のちょっとしたコツを教えるのを楽しみにしています。出来るだけ多くのことを伝えられたらと思います。今後も課題はありますが、何といたっても三代目は我が家のホープです。



田中 敏治 = 文

text: Tanaka Toshiharu

「学生時代は最高の時」

私は昭和51年から4年間旧歯科補綴学第2講座に在籍し、退職後十数年非常勤講師として大学に携わっていました。辞職後、大学との関係が遠のいていましたが、息子の入学で、また縁が復活しました。大学生活は、人生の中で一番自由な時間が持て、勉学にもまた興味あるものにくらでもチャレンジ出来ます。授業は社会のニーズに伴い、高い内容で理解し消化するのに学生達は大変だと思います。皆、同じ目的に向かって進んで、日々の生活は後になれば良い思い出になるはずですよ。

5年前にテナント開業から自院へと移り変わり、年齢から考えるとかなりの冒険ですが、状況を考えるとまだまだ自分自身に奮起を促さざるをえません。歯科医師会も入会し、年月が立つと役員就任など本業以外の仕事が増えてきますが、今まで世間を狭く生きて

きたと反省することばかりです。卒業生も多数輩出し、私の会の役員半数以上は、本大学出身者で占められ皆さん活躍しています。

私もどの親御さんと同じ様に、最短で卒業し国試に合格し歯科医師になることを願っていますが、ある結婚披露宴で、新郎の父親が挨拶の中で、「人の世話が出来る歯科医」になって欲しいとありました。確かにこれは、経済的にも精神的にも余裕がなければ実行することは難しいことですが、この様な立場になれる努力をしなさいと言うことですから、日々の診療は大変と思います。

学生諸君は、田村の地に楽しい思い出を残す様に頑張ってください。

大学の授業時間が変わりました

福岡歯科大学では、平成18年度前期の授業から80分5コマ授業に変わりました。これは、学生の集中力が持続できる時間を考慮したと同時に、各授業開始時に小テストを行う時間や十分な実習時間を確保するためです。これに伴い、休憩時間も15分に延長されました。新しい授業時間は次のとおりです。

時限	授業時間
1	9:00~10:20 80分
2	10:35~11:55 80分
(昼休)	(11:55~12:45 50分)
3	12:45~14:05 80分
4	14:20~15:40 80分
5	15:55~17:15 80分

福岡医療短期大学保健福祉学科 父兄後援会会長改選



4月6日福岡医療短期大学の入学式に引き続いて開催された保健福祉学科父兄後援会総会において、平川照代氏が第6代目の父兄後援会会長に選任されました。同氏は「微力ながら皆様のお役に立たせていただきたい」と抱負を語られました。

福岡医療短期大学歯科衛生学科登院式

福岡医療短期大学歯科衛生学科の平成18年度登院式が、4月11日10時から福岡歯科大学本館講堂で執り行われました。同学科新3年生109名は、来賓、法人役員、教員、在学生、父兄等が見守る中、名前が呼ばれると緊張した面持ちで一人ひとり壇上へ上がり、相学長から戴帽を受けました。



From The Alumni Association

福岡歯科大学同窓会佐賀県支部主催 平成18年 学術講演会報告

平成18年2月4日に、福岡歯科大学同窓会佐賀県支部主催の学術講演会が、ホテルニューオータニ佐賀にて開催されました。今回のテーマは、「リスクマネジメント(危機管理)」ということで、佐賀市開業の浦嘉訓先生より、心停止傷病者の救命のために行う1次救命処置(BLS=Basic Life Support)について、重要なポイントや、注意点をわかり易く説明して頂きました。

その手順は、①まず意識の確認、②人を呼んで119番通報と、



浦 嘉訓先生

AEDを持ってくるよう指示、③気道の確保、④人工呼吸、⑤心臓マッサージ、⑥AED(自動体外式除細動器)ということでした。

特にAEDは、ホテルや空港、ショッピングモール等、人が集まる場所に設置されており、講習を受けた人は誰でも使用することができる為、5分以内の除細動で、心臓突然死の多くが救えるとのことでした。

1次救命処置に続いて、佐賀大学医学部麻酔・蘇生学講座の高嶋はる奈先生より、2次救命処置(ACLS)について、説明して頂きました。ACLSは、気管挿管、薬剤投与といった高度な心肺蘇生処置のことで、歯科医師会員が準備している救急薬品についても、詳しく説明

して頂きました。

今回の講演は、臨床の場で起こりうることばかりで、大変ためになった内容でした。

講演後は懇親会が催され、楽しい時間となりました。

文責 同窓会佐賀県支部 岡村 泰石(19期)



高嶋 はる奈先生

同窓会通信 支部での同窓会活動と歯科医師会

武井俊哉(2期)

本同窓会の卒業生は、今春の28期卒を含め3000名余りとなりました。1、2期生などを現役卒業と考えると、皆50才代に入りました。在学生の中に多くの子弟が在籍していることから当然初期の卒業生は、明らかに壮年の世代になったことがうなづけます。

『同窓生名簿2006』を昨年末、3年ぶりに発刊しましたが随分分厚くなったなとつくづく感じさせられます。3期7年にわたる宮口執行部は、入会率70%の目標に迫る勢いで、今春第4期目に入ります。

一方、支部に目をむければ、その活躍には

目をみはります。象徴的にこの2月、佐賀県歯科医師会会長の寺尾隆治先生(1期、同窓会顧問)は2期目に入り、沖縄県歯科医師会の新会長には高嶺明彦先生(6期、同窓会副会長)が当選しました。また、熊本県歯科医師会副会長には吉田公典先生(1期、同窓会副会長)が留任され、その他多くの同窓生が各県郡市区で要職に就いています。もちろん、歯科医師会は多くの他大学同窓生とのコラボレーション(共同作業)と協力が必要で、同窓会活動にも増してその事業運営は意義深いものがあると思います。

この支部における歯科医師会事業参画での同窓生の奔走が、とりもなおさず我が同窓会本部・支部活動を下支えていると確信していますし、このことは、母校発展にも大きく寄与するものと考えられます。

近年、歯科界を取り巻く環境は非常に厳しいと言われる。同窓生におかれては心労も多いと思われそうですが、特に最近の50才前後での同窓生の訃報の多さには愕然とすることがしばしばです。

『死んで花実が咲くものか』の言葉の様に、くれぐれも健康に留意して頂きたいと思えます。

卒業生トーク 「頑張れ!女性歯科医師」

江原道子(22期)



「パシッ!パシッ!」頬をたたく小さな手に起こされ、目を開けると満面の笑みで私をみている1歳3ヶ月になる娘の顔。時計をみると6時半。娘の世話、夫の食事の準備、そして手抜き化粧をし、保育園へ預ける娘を連れて自宅を出る。

こんな毎日を送っている私は、昨年3月に大学院を修了し、現在は大学院でお世話になった病態構造学分野(旧口腔病理学)に専攻生として在籍し、研究、病理診断業務および学生教育に携わっております。そして、今年でデビュー18年目になりました民謡歌手としての活動もまだまだ現役で(振袖を着て)頑張っております。大学院3年生の時に結婚しましたので、本名は変わりましたが、芸名は旧姓の須賀道子で活動しております。

最近は大学に残っている同窓生が少なくなっており、特に基礎は優秀な先生方が多く、残るのが困難で、学生時代と同様頃の

収入に頼って生活しております。卒後6年経ちましたが、学生時代から病理が好きで、この道を選びましたので、早く研究者として一人前になれるよう頑張っていこうと思っております。

幸い、夫はとても理解があり、学会などに出席する時も、会社の休みを取って、娘のことをみてくれます。女性が仕事をする時、特に子どもがいる女性に必要なのは、パートナーの協力です。しかし、職場や地域の理解がなければ、協力したくてもできないということになってしまいます。我が母校をはじめ、歯科業界において、女性歯科医師が働きながら、結婚、出産でき、少子化に歯止めをかけることに少しでも貢献できることを祈っております。



同窓会20周年記念祝賀会

新たな挑戦



福岡歯科大学同窓生の皆様、こんにちは。私は、福岡歯科大学を昭和61年(8期生)に卒業しました久保山です。昨年12月に、福岡県古賀市でくぼやまひろこ小児歯科を開業致しました。卒業後、約19年間福岡歯科大学小児歯科(現在は、福岡歯科大学成長発達歯学講座育成小児歯科学分野です。)に在籍し、診療、学生教育、研究と長年にわたり福岡歯科大学とおつきあいをさせて頂きました。その間、本川教授には大変お世話になり、大変感謝致しております。

大学勤務時代には、私が入局当時幼稚園児だった患者様が、退職時には大学生、中には衛生士さんになるなど、様々な社会人となり、長期にわたり口腔管理をさせて頂きました。その中で成長していく患者様より、様々なことを学び経験させてもらったことが、現在開業して色々な場面で役に立っております。

私の病院は、鹿児島本線JR千鳥駅のすぐ横にあります。周りは比較的新興住宅地で、博多駅から25分ぐらいの所です。この地に開業したのは、開業することをずっと考えておりました私に、叔父がこの土地を使っても良いぞと言う一言から、一気に開業へと踏み込みました。

現在スタッフは、衛生士2人、歯科助手1人で、やる気のあるスタッフに恵まれ、大学とはまた違った意味での悪戦苦闘の毎日を送っております。

開業医となった私ですが、まだまだ初心者です。これからどんな楽しみや苦勞がたくさん待っているかと思うとぞっとしますが、私なりに小児歯科専門医として地域に貢献していきたいと考えております。

久保山 博子(8期) = 文

text: Hiroko Kuboyama

写真上=くぼやまひろこ小児歯科(古賀市)

写真下=久保山先生(左から2番目)とスタッフのみなさん



後輩のみなさんへ



私は学生時代ヨット部に在籍しており、昨年オールデンタルの主幹校となったことで久しぶりに過去を顧みる機会に恵まれました。その際現役の学生達と話をすると、歯医者への将来に不安を感じ、希望を抱いていないのです。卒業から8年の経験が学生の皆さんに少しでも役立てばと思います。

私は家業が医者でないことから、むし歯や歯周病を治し、信頼され、待合室には患者さんが溢れているという歯科医師の姿に夢を持っていましたが、現実には「むし歯は治してもまた出来る、歯周病は何をしても治らない、歯磨き指導は嫌われる。」という勤務医時代の教えから、医師としてのやりがいを感じず、結婚して3ヶ月の頃仕事を辞めました。

他の職を考え、空虚な日々を過ごす中、何気なく手にとった一冊の本、飯塚哲夫先生著書「歯科医療とは何か」(愛育社)は、道を放棄してしまった自分を恥じる内容でした。もう一度困っている方の力になりたい。私の中にまた以前の夢に対する情熱が沸き起こってきたのです。虫歯は治せる。歯周病も治せる。結果を元に患者は必ず信頼してくれる。後は我武者羅に突き進み、仕事を辞めた私を一度も責めず、ただ静観してくれていた家内や、鳥栖市の権藤先生やお父様に蔭に日向に支えて頂き、平成13年、地元である太宰府に開業しました。

感謝の言葉や御礼のお手紙を頂いたり、スタッフに焼き菓子をお持ち頂いたり、お待たせしているにも関わらず急患の方に順番を譲って下さる方、ご自分の葬式には必ず出てくださいと言われる方。医師の仕事が、患者さんの心遣いに奮い立たされる職業であることを実感しております。この感動は私の考えに賛同し、助けてくれるスタッフがあっこそです。私はこの道は修行と思っています。低俗な私には困難な道ですが、つらくないのです。この先さらに光が差すことを感じているからです。確かに現役の皆さんにとって歯科界は不安材料ばかりです。しかし、歯科医師としての仕事や使命を考えると、これは色褪せないのです。決して消えない光なのです。

山中鹿之助翁の吟「憂きことのおのこの上に積もれかし限りある身の力ためさん」、これが私の信条です。

城 順一郎(20期) = 文

text: Junichiro Jo

写真上=じょう歯科診療所(太宰府市)

写真下=城先生(左端)とスタッフのみなさん



第28回歯学部卒業式・第18回大学院修了式

福岡歯科大学の第28回卒業式並びに第18回大学院修了式が3月15日午前10時から本館講堂で執り行われ、本田学長より歯学部卒業生81名に卒業証書・学位記が手渡され、大学院修了生6名には博士(歯学)の学位記が授与されました。

表彰者は次のとおりです。

学業成績優秀者

村田 郁【理事長賞】
福岡 宏士【学長賞】
神谷 順子【学長賞】

学友会功労者

田中 昭彦
【平成16年度 学友会
体育部会長】
福岡 宏士
【平成16年度 学友会
学術文化部会長】
田代 琢二
【平成16年度 学友会
学園祭実行委員長】
福谷 能史
【平成16年度 学友会
体育祭実行委員長】



大学院修了生

福岡歯科大学謝恩会



平野氏、堀江氏に対する学位授与



大熊氏に対する学位授与

第8回福岡医療短期大学卒業式

福岡医療短期大学の第8回卒業式が3月10日午前10時から福岡歯科大学本館講堂で執り行われ、歯科衛生学科85名と保健福祉学科46名の卒業生に対し相学長より卒業証書が授与されました。

学業成績優秀による表彰者は、次のとおりです。

歯科衛生学科

倉富 優【理事長賞】
辻 陽子【短大学長賞】
柏木 里美【短大学長賞】

保健福祉学科

横山 真奈【理事長賞】
廣田 文子【短大学長賞】
寺垣 美佳【短大学長賞】



保健福祉学科謝恩会



【学位論文紹介】

【学位授与日:平成18年 3月15日】

- ◇後藤 洋介(甲第182号) Differential gene expression of matrix metalloproteinase-3 and -13 during mineralization of MC3T3-E1 cells cultured on titanium implant material
- ◇大郷 友規(甲第183号) Differential bone histomorphometric characters of the mandible in senescence-accelerated mice (SAMP6 and SAMP8): murine models for senile osteoporosis and temporomandibular joint osteoarthritis
- ◇鈴木 祐社(甲第184号) Involvement of chemokine receptor 4/stromal cell-derived factor 1 system in human salivary gland carcinoma cell motility
- ◇萩尾 真紀(甲第185号) Degradation of methacrylate monomers in human saliva
- ◇中村 充志(甲第186号) Photoelastic stress analysis of mandibular molars moved distally with the skeletal anchorage system (SAS)
- ◇藤 艶傑(甲第187号) Proinflammatory cytokine genes transcriptionally controlled with isoproterenol treatment in rat parotid gland

【学位授与日:平成17年 11月30日】

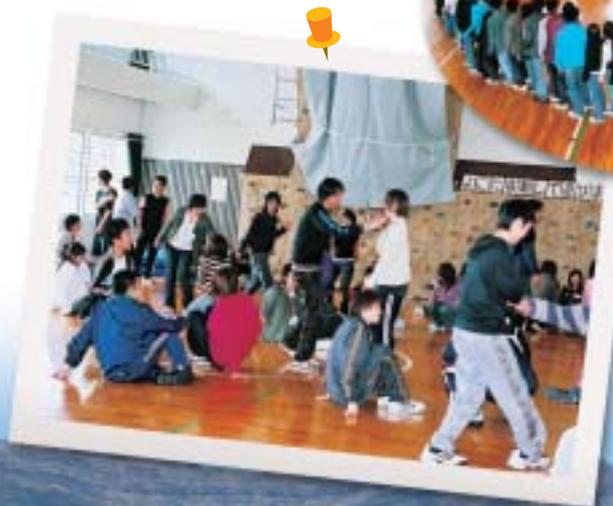
- ◇平野 博文(乙第75号) CO₂ レーザー照射したラット象牙質・歯髓の光顕および電顕的研究
- ◇堀江 和彦(乙第76号) CO₂ レーザー照射によるHAp粉末の象牙細管封鎖に関する基礎的研究

【学位授与日:平成18年 3月31日】

- ◇大熊 一稔(乙第77号) 耳下腺唾液中に含まれる抗菌ペプチド・ヒスタチンの断片化と唾液pH上昇能

福岡歯科大学新入生 研修会

4月6日～7日、平成18年度福岡歯科大学新入生研修会が国立阿蘇青少年交流の家で実施され、
『現代文明論』講義や理事長、学長講話、阿蘇登山などが行われました。



福岡医療短期大学新入生 研修会

4月14日～15日、平成18年度福岡医療短期大学新入生研修会が国立阿蘇青少年交流の家で実施されました。
 歯科衛生学科と保健福祉学科の新入生はそれぞれの学科ごとに、レクリエーションや大観峰見学等を行いました。

歯科衛生学科



保健福祉学科



平成19年度入学試験日程

福岡歯科大学					福岡歯科大学大学院 歯学研究科	
区分	推薦入試	一般入試A日程	センター試験利用入試	一般入試B日程	一次募集	二次募集
募集人員	約30名	約46名	約10名	約10名	18名	
出願受付期間	H18.11.1(水)-11.9(木)	H19.1.4(木)-1.29(月)	H19.1.22(月)-2.13(火)	H19.2.13(火)-3.6(火)	H18.7.31(月)-8.18(金)	H19.1.29(月)-2.16(金)
試験日	11月11日(土)	2月1日(木)	2月17日(土)	3月8日(木)	8月24日(木)	2月22日(木)
合格発表日	11月16日(木)	2月7日(水)	2月21日(水)	3月14日(水)	9月6日(水)	3月7日(水)
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡歯科大学学務課入試係 TEL.092-801-1885(直通) FAX.092-801-0427(直通) ●ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/col ●携帯電話用ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/colhp E-mail:gakumu@college.fdcnet.ac.jp					

福岡医療短期大学・歯科衛生学科					
区分	推薦入試	一般入試A日程	一般入試B日程	一般入試C日程	AO入試
募集人員	20名	15名	5名	若干名	40名
出願受付期間	H18.11.1(水)-11.9(木)	H19.1.4(木)-1.29(月)	H19.2.5(月)-2.22(木)	H19.3.1(木)-3.12(月)	詳細は下表をご覧ください。
試験日	11月11日(土)	2月1日(木)	2月24日(土)	3月14日(水)	
合格発表日	11月17日(金)	2月6日(火)	3月2日(金)	3月16日(金)	
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 歯科衛生学科入試係 TEL.092-801-0439(直通) FAX.092-801-4473 ●ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/hyg ●携帯電話用ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp E-mail:gakumuj@college.fdcnet.ac.jp				

福岡医療短期大学・保健福祉学科								
区分	推薦入試(指定校)	推薦入試(I)(公募・社会人)	推薦入試(II)(公募・社会人)	一般入試A日程	一般入試B日程	一般入試C日程	一般入試D日程	AO入試
募集人員	15名	10名	5名	10名	若干名	若干名	若干名	20名
出願受付期間	H18.11.1(水)-11.9(木)	H18.11.1(水)-11.9(木)	H18.12.4(月)-12.14(木)	H19.1.4(木)-1.29(月)	H19.2.5(月)-2.22(木)	H19.3.1(木)-3.12(月)	H19.3.16(金)-3.24(土)	詳細は下表をご覧ください。
試験日	11月11日(土)	11月11日(土)	12月16日(土)	2月1日(木)	2月24日(土)	3月14日(水)	3月26日(月)	
合格発表日	11月17日(金)	11月17日(金)	12月21日(木)	2月6日(火)	3月2日(金)	3月16日(金)	3月27日(火)	
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 保健福祉学科入試係 TEL.092-801-0923(直通) FAX.092-801-4473 ●ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/wel ●携帯電話用ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp E-mail:gakumuj@college.fdcnet.ac.jp							

福岡医療短期大学 Admission Office (AO) 入学試験

AO入学試験は、これまでの学力を重視した入学試験とは異なり、人物を重視した入学試験です。書類選考や面談をとって受験生の意欲、目的意識や可能性などを総合的に評価します。

福岡医療短期大学 歯科衛生学科・保健福祉学科						
区分	説明・面接及び申込み開始	エントリーカード提出締切	面接(1)及び課題提示	願書提出及び面接(2)	合格発表	入学手続締切
5月期	5月20日(土)	5月30日(火)	6月17日(土)	7月1日(土)	10月6日(金)	10月20日(金)
6月期	6月17日(土)	6月27日(火)	7月15日(土)	8月8日(火)		
7月期	7月15日(土)	7月25日(火)	8月11日(金)	8月22日(火)		
8月期	8月11日(金)	8月22日(火)	8月29日(火)	9月9日(土)	10月20日(金)	10月31日(火)
9月期	9月30日(土)	10月5日(木)	10月7日(土)	10月14日(土)		
10月期	10月21日(土)	10月31日(火)	11月4日(土)	11月11日(土)	11月17日(金)	11月30日(木)

【注】申込み開始日はオープンキャンパス開催日です。各AO入試において、社会人AO入試も行います。
*12月以降のAO入学試験は、入試係にお問合せください。

オープンキャンパス

入学希望者をはじめ、ご家族や高校・予備校の先生方を対象に福岡歯科大学、福岡医療短期大学において「オープンキャンパス」が下記の日程で行われます。お誘い合わせの上、お気軽にご参加ください。(問い合わせは上記の大学・短大各入試係まで)

開催校	実施日
福岡歯科大学	7月29日(土) 10月28-29日(土・日)【学園祭】
福岡医療短期大学 (歯科衛生学科) (保健福祉学科)	第1回 5月20日(土) 第2回 6月17日(土) 第3回 7月15日(土) 第4回 8月11日(金) 第5回 9月30日(土) 第6回 10月21日(土)



(解剖実習室見学)



(情報処理実習室見学)



(歯科衛生学科:診療実習室見学)



(保健福祉学科:車椅子体験)